

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年4月26日(2012.4.26)

【公開番号】特開2002-173660(P2002-173660A)

【公開日】平成14年6月21日(2002.6.21)

【出願番号】特願2001-271021(P2001-271021)

【国際特許分類】

C 09 J 175/04	(2006.01)
B 60 C 1/00	(2006.01)
C 08 G 18/09	(2006.01)
C 08 G 18/40	(2006.01)
C 08 J 5/12	(2006.01)
C 08 L 21/00	(2006.01)

【F I】

C 09 J 175/04	
B 60 C 1/00	A
C 08 G 18/09	
C 08 G 18/40	
C 08 J 5/12	C E Q
C 08 L 21/00	

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年3月1日(2012.3.1)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0009

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0009】

使用しても良いブタジエンホモポリマーの例としては、ヒドロキシル末端官能基を含むポリブタジエンがある。

使用しても良いブタジエン-アクリロニトリルコポリマーの例としては、アミン末端基を含むコポリマーがある。

使用しても良いシラン基を含むポリエーテルの例としては、シラン末端基を含むポリオキシプロピレンがある。

前記接着剤を製造する為の本発明方法は、前記コポリマーを得る為に、全成分質量に対する質量分率で、60%~70%の前記ポリイソシアネート、10%~20%の前記官能性ポリマー、0.01%~1%の前記三量化触媒及び0%~20%の前記連鎖延長剤を反応させることから成る。

ポリイソシアネートが過剰に用意されているこの組成は、周囲空気及びゴム表面(得られた接着剤が接触して置かれる表面、例えば、タイヤカバーのケーシング表面又はトレッド表面)の湿度、及びこれらのゴム表面から始まる製品の移動の結果としてのこの試薬のその後の損失を補償することができる点が注目される。更に、ポリイソシアネートのこの過剰は、尿素又はウレタン官能のその後のアミノ分解反応に十分な抵抗性を持つブレンドを与える。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0010

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0010】

本発明の其の他の特徴によれば、この製造方法は、前記ポリイソシアネートと組合せた、前記官能性ポリマー、前記三量化触媒及び前記連鎖延長剤を含むブレンドであって、このブレンドの粘度がブルックフィールド法で測定して、実質的に38～46ポイズであるブレンドの使用から成る。ポリイソシアネート及び前記ブレンドのこれらの低粘度は、それらを周囲温度で液状とし、得られた接着剤を周囲温度で使用し易くさせる点が注目される。本発明のタイヤカバーのトレッドは、再トレッディングの目的の為の架橋ゴム組成物から成り、このトレッドは前記接着剤をその半径方向における内側面上に含むものである。本発明のタイヤカバーは、このトレッドを含むものである。本発明の製品は、二つの部分を含み、二つのそれらのそれぞれの面において、前記接着剤と一緒に結合されていて、前記面の少なくとも一つが架橋ゴム組成物から成る。